

サレジオ同窓会日本連合 設立役員会 議事録（案）

日時： 2015年5月9日（土） 15:00～17:00

場所： サレジオ高専 231室

出席者：（役員）吉田会長、林副会長、倉知副会長、小太刀副会長、近松理事、由良理事、長岡理事、横山理事、森理事、谷口理事、仁賀理事、矢本理事、井上理事、黒岩理事、又江原理事、富岡理事、奥山監事、北村監事
（顧問）山野内管区長、鈴木（英）神父、鳥越神父、小島神父、北川（純）神父、
（事務局）立石事務局長、大川（書記） （25名）

オブザーバー（育英学院）：河村、川島、藤谷、高橋、木戸

（大阪星光学院）：榎村

欠席者：野崎副会長、濱崎神父

1. 開会の言葉（林副会長）

- ・司会進行役の林副会長（開催校・育英学院同窓会長）より、開会の宣言があった。山野内管区長とともに全員で「聖ヨハネ・ボスコへの祈り」を唱えた。

2. 歓迎の挨拶（小島神父）

- ・同窓会連合設立にあたって尽力された皆さんに祝意と感謝を申し上げたい。サレジオ高専としてこの連合に協力していきたい。日本連合はポテンシャルの高い同窓会であると考えている。今後、様々な活動を通して、世界の人々にも知っていただける組織となるように期待している。

3. 会長の挨拶（吉田会長）

- ・会合参加者、サレジオ高専・育英学院同窓会の関係者に感謝している。城星学園（扶助者聖母会）、大阪星光学院で学んだ。星光の同窓会長は7年目となった。同窓会の目標：①期を超えて「集う」こと、②学院に対する物心両面の支援、③社会への貢献、が少しずつ形づいてきたと考えている。
- ・サレジオ同窓会連合の会長として、役員・メンバー一人ひとりの力が必要である。各人の考え方の違いを踏まえ、言うべきことを言い合いながら、世の中のために何ができるか、しっかりと答えを導いていきたい。理解と協力をお願いしたい。
- ・ドン・ボスコ生誕200周年のタイミングにあたって本連合が設立されたことに感慨を覚えている。サレジオ会日本管区、各校、各同窓会、メンバーの家族の繁栄と発展を心より祈っている。

4. 議長および書記の選出

- ・本役員会の議長として吉田会長を、書記として大川事務局員を全会一致の上選出した。

5. 参加者紹介

- ・本役員会参加者より自己紹介があった。

6. 議案

【前回議事録の承認】

- ・参考資料 1 により、昨年度第 3 回会合の議事録を確認し、全会一致で承認した。

【第 1 号議案】サレジオ同窓会日本連合の設立

- ・資料 1-1、1-2 に基づき、役員名簿・規約の内容を確認し、サレジオ同窓会日本連合の設立を全会一致で承認した。

【第 2 号議案】2015 年度事業方針および収支予算案

- ・資料 2-1、参考資料 2、および、参考資料 3 に基づき、2015 年度事業方針案、ドン・ボスコ生誕 200 周年の取り組み、サレジオ同窓会連合世界大会の案内等について、立石事務局長より説明があった。
 - ・同窓生・教員対象の巡礼はまだ募集中。参加を検討してほしい。(山野内管区長)
 - ・ドン・ボスコの漫画『コラッジョ!!』が完成し、間もなく発売される。サレジオ会学校連合会では、全生徒・児童向けに購入・配付予定。漫画は英語・イタリア語などに翻訳し、全世界に展開を予定している。
 - ・DB200 記念 T シャツは、林副会長の尽力によって出来上がった。ポロシャツなど他の募金グッズを現在準備中。
 - ・サレジオ同窓会世界連合会議の参加申し込み締め切りは 5 月末（事務局まで）。
 - ・次期アジア大会（2017 年）開催地は東ティモール。現地で活躍中のサレジオ高専 OG やボランティアグループのつながりを活かしたい。
- ・資料 2-2 に基づき、2015 年度収支予算書（案）について、横山理事より説明があった。
 - ・各同窓会分担金を 20 万円（上限）に増額することとした。支出として、新規同窓会（サレジオ小・中同窓会）設立支援費、予備費それぞれ 10 万円を計上することとした。
- ・2015 年度事業方針および収支予算案について、いずれも全会一致で承認した。
- ・小太刀副会長よりサレジオ小・中同窓会設立支援について謝意が示された。

7. 懇談

- ・資料 3 をもとに、今後の活動等について意見交換を行った。

【交流活動について】

- ・メーリングリストを作成し、役員会メンバーを中心に情報を共有できる形にする。
- ・集いやすいイベントを繰り返し、互いの同窓会の存在を周知していく必要がある。
- ・各同窓会のイベントについて他校同窓会メンバーを招待できるものがあれば、メーリングリストを活用し、広く参加を呼びかけていく。
- ・11 月 23 日のドン・ボスコ生誕 200 周年閉幕イベントは、同窓会連合にとって大きなチャンス。各同窓会から担当者を募り、ウニオーネと合同で大同窓会を準備していきたい。参加予定のサレジオ会員（恩師）を事前に把握し、同窓生に広く参加を呼びかけたい。
- ・日本連合も世界連合同様に、数年に 1 度大きな会議を開き、広く参加を呼びかけていってもよいのではないか。
- ・全体会合の間隔をもう少し短くして、具体的な活動を積極的に進めていってはどうか。
- ・次回 2016 年 2 月開催予定の役員会前に、会長・副会長レベルで準備する必要がある。

【10月世界大会について】

- ・派遣予定者：育英学院：近松理事、日向学院：検討中、大阪星光学院：5月23日同窓会総会で決定予定、サレジオ学院：立石事務局長、サレジオ小・中：今回は見送り。
- ・顧問の派遣についてはサレジオ会で検討。
- ・派遣にあたって、準備会を行いたい。
- ・世界大会に参加すると、サレジオの精神を生き、活躍している世界の同窓生の姿に触れることができる。
- ・2021年以降のアジア大会の開催を日本連合に要請される可能性がある。

【若者支援活動について】

- ・各校の特色を生かした形で、各同窓会の枠を超えた若者支援・職業教育（生徒に対するガイダンスなど）を展開できないか。生徒や若手同窓生の可能性が広がるのでは。

<この他の意見>

- ・地域ごとに交流をもつことが現実的。日向学院では、東京で大きな集いを11月第1週土曜日に行っている。
- ・大阪星光学院では、東京星光会・大阪大忘年会とも250名ほど参加。幹事の担当期を毎年変えて、各期で引き継げるようにしている。
- ・サレジオ学院では、25歳と50歳になる期に呼びかけて同窓会を行っており、徐々に浸透しつつある。星光同窓会と同様に作成したドン・ボスコのピンバッジを卒業生に配付したところ、保護者も含めドン・ボスコの学校としての認識が少しずつ高まりつつある。

【次回役員会について】

- ・次回役員会は、宮崎・日向学院にて開催予定。
2016年2月20日（土）、27日（土）のいずれかで調整する。
宿泊先を早めに押さえてほしい。

8. 管区長の挨拶

- ・長い準備を経て、このドン・ボスコ生誕200周年に1つの夢が実現した。心から感謝したい。集まる場を通して、絆が広まっていくことを実感している。同窓生の輪をさらに広げて、社会・国際社会への貢献の面もぜひ考えていってほしい。
- ・機関誌『ドン・ボスコの風』で同窓生の記事が毎回書かれている。広告などの形も含め、同窓生にさらに協力してもらえるとありがたい。

9. 閉会

- ・林副会長より、閉会の宣言があった。